

“祝う会”でお会いしましょう!!

函館大妻高等学校 校長 池田 延己
同窓会 名誉会長

5月11日、札幌支部同窓会総会に出席した時のこと。『私たちの時に体操部を作ったのよ』と昭和24年卒の旧姓芦野さん、『バレー部は私たちが立ち上げたのよ』と昭和25年卒の旧姓石原さん。体操部は廃部になったけれど、つくづく思った。「過去があって現在があり、未来につながる」と。このつながりこそが「伝統」で、絶対に途切れさせてはいけない、と。

その「伝統」の中で最も大切な不易の部分が「良妻賢母の育成」。そして、最終目標が、社会で役立つ女性の育成と自立、自存。もちろん、時代の変遷で社会の要求も変転する。流行と上手に付き合うことも大切。でも、不易の部分は絶対に守らなければ、大妻が大妻ではなくなってしまう。八重の桜ではないけれど、『ならぬものはならぬ』のです。気を引き締め直して頑張らねば…。

とは言っても、学校だけが頑張ってみても「伝統」はつながらない。やはり、90年の歴史の中の要所をつないできた、同窓生のパワーがあってはじめて未来につながっていく。参加の皆さんに一冊ずつ差し上げるべく、この10年間の「伝統」を記録でつなぐ「90周年記念誌」の編集作業も急ピッチ。どれ一つ欠けても「伝統」はつながらない。

大妻を卒業したのも何かのご縁。同窓会主催の“創立90周年を祝う会”に集まり、お互い楽しく語り合うことで、“ある時”の高校時代に戻って見ませんか？

10月5日、皆さんとお会いできるのを楽しみにしています!!

～『90周年記念事業』寄付金についてのお願い～

平成22年度より皆さまにご協力いただきました寄付金も、目標金額達成まであと一息のところまでできております。昨今の不況や東日本大震災などもあった中での寄付の願いを心苦しく感じておりましたが、これまで快く応えて下さった皆さまの母校を思うお気持ちに深く感謝し心よりお礼申し上げます。

『創立90周年を祝う会』記念セレモニーでは、「寄付金1,000万円」の目録を母校に贈呈できるようさらに努力する所存でおります。

つきましては、平成22年度より平成25年8月31日の申し込み締め切りまでに寄付をして下さった皆さまのご芳名を「90周年記念事業 協賛者名簿」に掲載させていただきますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。